

福積 章男 議員



一括質問方式

- ①市長の3期目に向けた政治姿勢
- ②指定管理者制度
- ③人口減少問題
- ④廃棄物発電
- ⑤学校など公共施設
- ⑥公共下水道の進捗状況
- ⑦街路樹の管理
- ⑧教育行政

指定管理者制度について

**問** 本市では多くの施設について指定管理者制度が導入されてきたが、中には制度の導入によるメリットが発揮されていない施設もあるのではないかと懸念をしている。制度の導入による効果をどのように検証されているのか、また、各施設の運営、経営状

況をどのように把握されているのか。

**答** 本制度は、平成16年度より導入を開始し、現在では24の施設で

指定管理者による管理運営がされています。効果の検証と運営、経営状況の把握は、担当部署で行い、必要に応じて運営の改善に向けた指導、助言などを行っています。また、指定管理者候補者選定等審査会においても、毎年、委員による実地調査や担当部署の検証結果に基づき、改めて検証、評価を行っており、どの施設も民間ならではの手法で市民サービスの向上や効率的な運営に努めている状況と判断されていることから、市としても、一定のメリットが得られているものと認識しています。

人口減少問題について

**問** 高齢化が進み、福祉関係ほか、あらゆる産業において人手不足が起きている。大洲市は人口減少問題について、今後どのような取り組みをされるのか。

**答** 本市では、平成28年に人口減少や少子・高齢化に歯止めをかけるため、大洲市まち・ひと・しごと

創生総合戦略を策定し、必要な施策を展開しており、若者の地元回帰を促すため、市内への就業者に対して奨学金返還や家賃への支援を行うとともに、ホームページや移住フェアによる情報発信、空き家バンクやワンストップ相談窓口の設置など、総合的な移住・定住支援に取り組んでいます。また、中小事業者が独自に取り組む人材育成や開発、求人活動を支援するため、新たに中小企業者・小規模事業者応援事業補助金の創設を提案しているところです。

一方、多様なニーズに対応した教育、保育サービスの充実を始め、第3子以降における保育所、幼稚園の保育料無料化、子ども医療費助成制度の拡充などに取り組むことにより、若い世代が安心して子供を産み育てられる環境整備にも力を入れています。今後も市民の皆様が本市で暮らし続けたい、働きたいと思えるまちづくりを目指し、社会全体で若者、女性、高齢者が活躍できる環境整備にも取り組んでいきたいと考えています。

公共下水道について

**問** 新谷、平地区の計画区域が縮小になったが、残りの工区、工事が多いことに変わりはない。少しでも早く下水道設備を完成させ、利用者人口を増やし、使用料収入のアップ、健全経営を図るべきと思うが、どのように考えているのか。また、総事業に対し進捗比率はどの程度になるのか。完成時期についても伺います。

**答** 公共下水道の面整備の進捗状況については、肱南処理区においてはほぼ面整備を終え、肱北処理区を進めているところで、肱北地区は約30%の整備率とまだまだ低い状況です。更なる整備促進を図るため、今年度から社会資本整備総合交付金の増額が見込める重点化事業に取り組みしており、平成52年度としていた全体計画案を平成38年度の完成を目指し、面整備を進めていく予定としています。下水道事業の健全経営については、早期完成による健全経営を図るため、市に有利な財源を確保し、将来にわたって市民の負担とならないよう、下水道事業の推進に努めていきたいと考えています。